

ぽっかぽか通心

2022 1/10 新春号

- 1、新年ご挨拶
- 2、松下幸之助 1日1話
- 3、動画で解説シリーズを充実
- 4、デフレからインフレへ転換か!?
- 5、知らなきゃ損する公的介護保険制度の仕組み
- 6、お客様の声ご紹介
- 7、編集後記 (私の楽しみ♪)



1、新年ご挨拶

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。2022年は、新型コロナウイルス感染が終息し、一年の世相を表す漢字が、「喜」・「楽」・「希」・「新」・「翔」などが選ばれることを期待したいです。



さて、**私が事務所を独立開業したのが2007年1月5日ですので、まる15年が経過し今年で16年目に突入しました。**これもひとえにいつも支えていただいている皆様のおかげであると感謝しております。本当にありがとうございます。今後とも末永いお付き合いの程、よろしくお願い致します。

また、ビジネスマン・ビジネスウーマン3種の神器と言われる①英語②IT③会計ですが、私の場合①は大阪弁しか話せませんし②は並以下ですので③しかありません。2022年、①②を平均レベルに引き上げるよりは、私が一番好きな③を含めたお金周辺を、楽しくさらに極めていきたいと考えています。

2、松下幸之助 1 日 1 話

大変好評な松下幸之助先生の 1 日 1 話。(PHP 研究所：刊)

今回のお話も経営者の方は勿論、サラリーマンの方、主婦の方も参考になる点があると思いますので、一度読んでみて下さいね。

「 自分の最善を尽くす 」

太閤秀吉という人は、ぞうり取りになれば日本一のぞうり取りになったし、炭番になれば最高の能率を上げる炭番になった。そして馬回り役になったら、自分の月給をさいてニンジンを買ひ、馬にやったという。このため嫁さんが逃げてしまったということだが、そこに秀吉の偉大さがある。馬番になったが「オレはこんな仕事は嫌だ」などと言わずに、日本一の馬番になろうと努力した。

つまり、いかなる環境にあっても、**自分の最善を尽くし、一日一日を充実させ、それを積み重ねていく。それが役に立つ人間であり、そのようなことが人を成功に導いていく道だ**と思うのである。

3、動画で解説シリーズが充実

『動画で解説シリーズ』(ユーチューブに動画をアップ)では、短時間でライフプランや経済・社会・投資に関して簡単に考え方をお伝えしていますが、**現在 161 本の動画を掲載**しています。昨年は 20 本を新規で掲載しましたので、ご興味ある項目から視聴していただくと嬉しいです。

- 積立投資の効果はどれくらい？
- 株式投資 一人あたり売上高
- ベビーシッター費用の相場は？
- 連続増配株の魅力 株式投資
- イデコの隠れたメリットとは？
- 奨学金に関する 3 つの勘違いとは？
- 介護休暇介護休業を活かす
- 保険見直し 4 つのステップとは？
- 結婚資金援助の平均はどれくらい？
- 今後の住まいに関する 3 つの考え方
- 退職金で初めて資産運用をする前に知っておくべきポイントとは？
- 紙の新聞を読む人だけが得られる 2 つのメリットとは？ etc

2022 年もさらに動画で解説シリーズを充実させる予定ですので、楽しみにお待ちください。リクエストもお待ちしております。

4、デフレからインフレへ転換か！？



昨年12月26日、総務省から11月の消費者物価指数が発表され、前年同月から0.6%上昇し3ヵ月連続でプラスとなりました。資源価格の上昇と円安が大きな要因ですが、皆さん、モノの値段が上がっている実感はありますか？デフレの象徴だった牛丼ですが、直近では牛丼並盛が吉野家は10%、すき家が14.3%、松屋は18.7%値上げしています。

2022年もパンなどの小麦製品、冷凍調理ハンバーグなど食料品の値上げが目白押しですので、私たちの生活に大きな影響が出そうです。統計資料の内容を見ると、携帯電話料金が大きく下がっていますが、これを除くと前年同月比で約2%上昇していることとなります。物価を押し下げている携帯料金は、今年4月で一巡し物価を押し下げる効果はなくなります。

そうすると・・・日本の中央銀行が様々な政策を駆使しても達成できなかった物価上昇率2%が現実になる可能性が高まっています。目標値に達した場合は、現在の大規模金融緩和策を見直す必要が出てきます。長らく続いたデフレからインフレへの転換、皆さん、準備はできていますか？

5、公的介護保険制度の仕組み

① 介護の現状

高齢化が進む日本では、介護が社会問題になりメディアでもよく取り上げられるようになりました。老老介護（＝高齢者が高齢者を介護すること）、認認介護（＝認知症の方を認知症の家族が介護すること）、ダブルケア（＝親の介護と子育てを同時に担うこと）等の言葉やその意味の認知度は上がっているのではないのでしょうか？

現在、総人口に占める65歳以上の割合は28.8%ですが、令和18年には33.3%、令和47年には38.4%に上昇する予測が出ており、我が国は今後も世界で最も高い高齢化率を維持していくことが見込まれています。

高齢化率が上昇することに比例し、介護が必要な方も増加しています。65歳以上で介護が必要な方は、平成21年度約470万人でしたが平成30年度は645万人と右肩上がり増加し、今後も高齢化率とともに介護が必要な方も増加することが容易に想像できます。介護は誰にとっても避けて通れない問題になっています。

② 公的介護保険制度

2000年に高齢者の介護を支える仕組みとして創設されたのが、公的介護保険制度です。介護保険の加入者は、65歳以上の第1号被保険者、40～64歳の第2号被保険者に分かれ、介護保険料は40歳以上が支払います。



この制度を利用するには、市区町村の介護保険窓口に申請し、介護の状態に応じた介護認定を受けます。認定後は介護支援専門員＝ケアマネージャーに相談し、介護の計画書＝ケアプランを作成してもらいます。ケアマネージャーは、介護事業所のリストで選択でき、人柄や能力を見て変更することもできます。

介護サービスの費用は原則1割負担ですが、所得に応じて1～3割負担になります。目安は、単身者の場合、月額収入が約28万円超で3割負担、約23万円超で2割負担になります。要介護度別に1か月に利用できる費用の上限額が設定されていますが、上限額を超える部分は自己負担になります。

(単位：円)

区分	利用限度額	1割負担	2割負担	3割負担
要支援1	50,320	5,032	10,064	15,096
要支援2	105,310	10,531	21,062	31,593
要介護1	167,650	16,765	33,530	50,295
要介護2	197,050	19,705	39,410	59,115
要介護3	270,480	27,048	54,096	81,144
要介護4	309,380	30,938	61,876	92,814
要介護5	362,170	36,217	72,434	108,651

③ 要介護認定

介護の状態によって、軽いほうから要支援1・2～要介護1～5の7段階に分かれ、認定されます。要介護認定は、①市区町村の担当医による聞き取り調査、②主治医の意見書により、コンピューターによる1次判定、専門家による2次判定を経て決定されます。例えば、要介護2の目安は、衣服の着脱は一人で何とかできるが、食事や排せつに何らかの介護を必要とするような状態、要介護5の目安は、歩行や両足での立位保持及び意思の伝達がほとんどできないような状態を指します。

要介護認定の聞き取り調査には、本人以外の家族が同席することが望ましいです。なぜなら、他人から色々質問されると、できないことでも一人でできると答える方が多く、介護状態に合った介護認定がされない可能性があるからです。家族から普段の状態を正確に伝えることによって、適正な介護認定がされることとなります。



④ 利用できる介護サービスの内容と目安

要介護認定されると以下の様々な介護サービスを受けることができます。

- ・訪問看護・・・ 看護師による病状悪化の防止、注射や点滴など
- ・訪問介護・・・ ホームヘルパーによる食事や入浴介助、掃除・洗濯など
- ・訪問リハビリ… 理学療法士や作業療法士によるリハビリなど
- ・デイサービス… 介護施設で食事等の介護、機能訓練を日帰りで行うなど
- ・ショートステイ…介護施設への短期入所など
- ・福祉用具貸与・・・車椅子やつえのレンタルなど
- ・住宅改修・・・ 玄関、階段、トイレに手すりをつける工事など

各サービスの自己負担額(1割)目安は、訪問看護(30分未満 470円/回)、訪問介護(身体介護が中心で20分以上30分未満)が250円/回、訪問リハビリが307円/回、デイサービス(要介護2)が421円/回、ショートステイ(要介護2)が799円/回になります。

ただし、実際の負担額は、介護サービス料が地域や利用時間、要介護度等によって異なりますし、介護保険が適用されない食費やその他実費が追加でかかりますので、ご注意ください。

⑤ まとめ

高齢化が進むにつれ、自分自身の介護や親の介護が心配という方は増加していますが、公的介護保険制度は強力な味方になります。上手にこの制度を利用すれば、介護する側もされる側も精神的・肉体的・金銭的な負担軽減に役立ちます。まずは、制度の仕組みをしっかりと理解することが大切です。

6、お客様の声ご紹介

年間顧問契約(保険の見直し・資産運用・住宅ローン見直しなどのライフプランを基本とするトータル家計相談)をご利用されたお客様の声(大阪府和泉市在住 30代ご夫婦)

私たち夫婦が長谷さんにお世話になろうと考えたきっかけは、「子どもができたので、しっかりお金のことや保険のことを理解して見直したい!」と思ったからです。まずは何もわからないまま大手の無料オンライン相談を利用しました。アドバイスはただけのもの、「果たしてこのまま言われた通りにしていいのかな?」と疑問に感じ、**有料できちんと見ていただける方に相談したい、という思いがありました。**

そこで、“日本FP協会”のHPにて長谷さんの考え方等を拝見し、フィーリングですが長谷さんに相談してみたいな!と思いお願いした次第です。始めは1~2回のご相談で終わるつもりだったのですが、長谷さんとお話させてもらう中で、もっと詳しく家計の相談をお願いしたいと思うようになり、年間の顧問契約をお願いすることになりました。

長谷さんに我が家がしていただいたことは

- ①子どもが産まれてからのライフプランシートの作成
- ②今入っている保険の見直し
- ③今後資産形成していくための積み立て投信やイデコの活用方法
- ④参考として株式投資の考え方

大きく分けてこの4点です。



①のおかげで子どもが産まれてからの家計の“漠然としていた不安”はかなり減りました。数字に起こしてもらうことで、どのくらいの費用がどの時期に必要なのか?そしてそこを見据えた際に、今から何ができるのかが明確になりました。

②こちらも結果的にかなり保険料の削減に成功しました。その分を貯蓄や資産形成にまわせます。公的な保険についてのお話もいろいろ聞いて勉強になりました。

③夫が資産形成の方法について不安に思っていることもあったのですが、**長谷さんが知識がゼロの私たちにも、わかりやすく教えてくださいました。**今後どんな風に資産形成をしていけば良いかのアドバイスもいただけ、これからは楽しみながら資産形成していけると思います。

④このお話は夫婦共々大変勉強になりました！株式投資をするかは別として、知識としてそんな風に考えるんだと教えてもらったことはとても興味深く、楽しかったです。

私達夫婦は金融の知識がほとんどない状態だったのですが、そんな私達にも長谷さんはとても分かり易い言葉を選んでお話してくださっていました。そのおかげで「…？」で終わることなく、理解したうえでいろいろと考え直すことができ、本当に長谷さんに相談して良かったなと思っております。

子どもが産まれてから、私たちの状況も変わるかもしれないので、その際はまたぜひ長谷さんにご相談できればなと思っております。今後ともよろしく願いいたします。

＜ F P 長谷剛史からのメッセージ ＞

大大変お忙しい中、嬉しいメッセージをいただきありがとうございます♪**将来への不安や資産運用への不安が軽減できたようで、嬉しく思っております。また、企業のビジネスモデルの話に興味を持たれたこと、視野が広がり今後活かさせていただきますと考えております。**今後とも末永いお付き合いの程、よろしくお願い致します。ご縁に感謝です。

7. 編集後記（私の楽しみ♪）

2021年、私が愛するプロ野球のオリックスが25年ぶりにパリーグ優勝を果たしました！全日程を終了していたオリックス、2位ロッテの勝敗次第という状況でしたが、ロッテが楽天に敗れオリックスの優勝が決まりました。

前回優勝は私が大学生だった1996年、阪神淡路大震災で壊滅的な打撃を受けた神戸を本拠地とするオリックスは、「がんばろうKOBÉ」を掲げ、大震災の1995年にリーグ優勝、翌1996年に巨人を倒して日本一に輝きました。感動の日本一から25年・・・長かったです(笑)

イチローが大リーグへ行ってしまってから、Bクラスが当たり前、直近2年は最下位と散々な結果になっていました（若い方は、イチローがオリックスでプレーしていたことを知らないかもしれません）。気づけばプロ野球12球団で最も優勝から遠ざかっているチームになっていました。

昨シーズン途中から中嶋監督が指揮をとるようになり、若い選手を積極的に我慢強く使い、かつ、その選手達が期待に応え、花を開くことができました。終盤になってから主砲吉田の2度にわたる離脱も、全員野球で何とか乗り切り、栄冠をつかみ取ることができました。

負け癖がついていたチームが、今年は「最後まで諦めない」姿勢が出て、応援のし甲斐がありました。大黒柱の吉田、山本だけではなく、才能が開花した杉本、宮城、そしてベテランのT-岡田、安達が躍動し、観戦していて選手の意識が本当に変わったと思うことが多かったです。

選手・監督・コーチ・裏方・球団職員、ファン、みんなが頑張った結果ですね。日本シリーズでは残念ながらヤクルトに負けてしまいましたが、日本一になる楽しみが今年にズレただけだと前向きに捉えています。

今年も京セラドームやほっともっとフィールド神戸に出かけていき、監督気分で野球観戦を楽しみたいと思っています(^0^)

◀ ネット管理サイト ▶

現在以下のサイトを運営しお金に関する情報発信を行っています。皆さんが将来計画やお金に関して悩んでいるとき、ヒントになるかもしれませんのでお時間あるときに一度覗いてみてくださいね。

HP : 「長谷ファイナンシャルプランナー事務所」

ブログ : 「大阪堺市のファイナンシャルプランナーはせっちの日記」

メルマガ : 「FPが易しく教える暮らしに役立つお金の学校」【読者 600人以上】

メルマガ : 「読まなアカン！人生がバラ色になるお金の特別講義」

ツイッター : 「fphase」【フォロワー2300人以上】

ユーチューブ : 「hasefp」161の動画をアップ

フェイスブック : 「長谷剛史」

それでは、「ぽっかぽか通心」春号は4月中旬発行予定ですので、楽しみにお待ちください。また、ご意見ご感想いただけると、今後の励みになりますのでよろしくお願い致します。

